

JR西日本の地域共生の取組み ～せとうちパレットプロジェクト～



西日本旅客鉄道株式会社

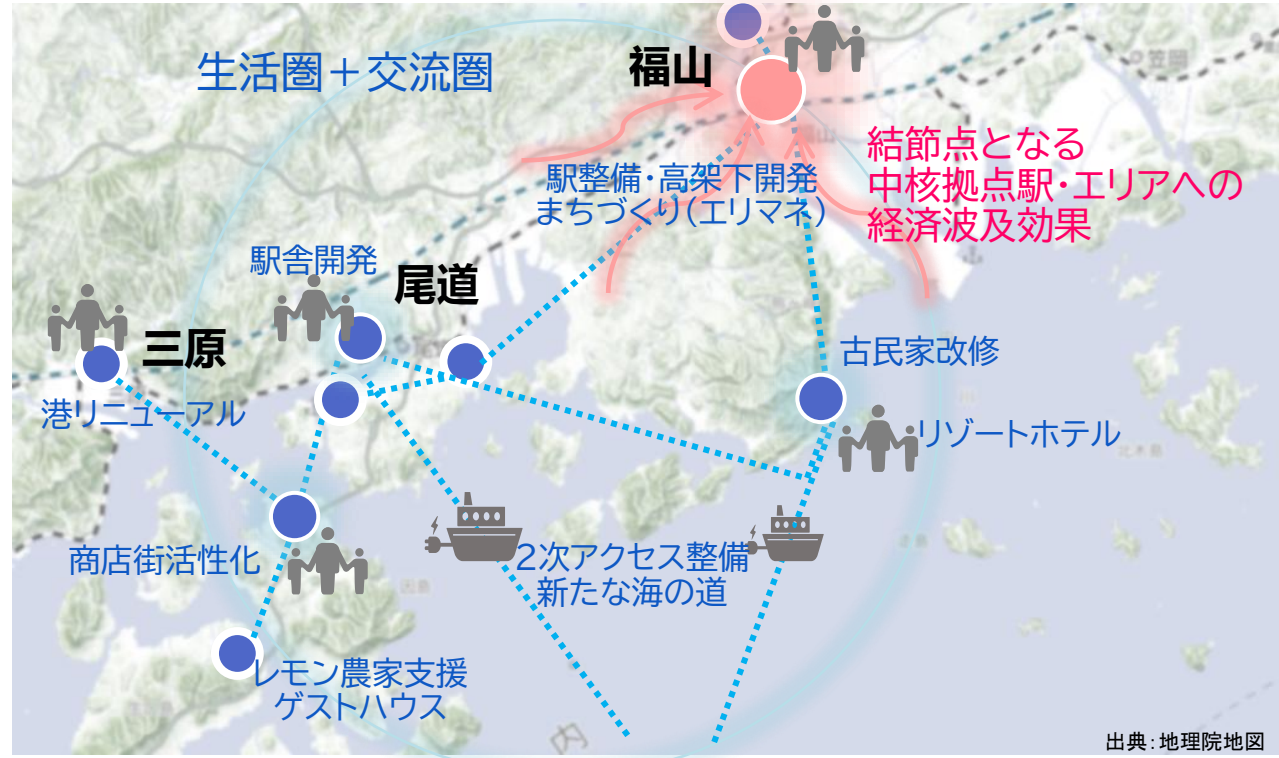
地域活性化に向けた考え方

これまで 観光誘致キャンペーンが中心

自社グループを中心とした取組み



地域や企業との“共創”による、長期的な”面”での取組み
(コンパクト+ネットワーク)



- 地域の“人”を主体に中核エリアを“面”で捉え、当社は地域づくりを加速する「支援者」の役割を担う。
- エリア内に多くのコミュニティ組成を目指し、人財プロジェクト等でつながる“キーパーソン”を核に好循環モデルを目指す。

地域が活性化している状態とは

住んでいる人が、“豊かで幸せな暮らし”が出来ている状態。

- ① 地域**キーパーソン**が地域内・地域外を“つなぎ”、**地域コミュニティが形成**されている。
- ② 地域の人による**新しいプロジェクトが創出**されている。
- ③ 地域プロジェクトにより、**お金の流れ(投資)が発生**している。

地域が活性化している状態

※国土交通省地域生活圏より

1. 地域の基盤となるコミュニティの活性化

- 住民同士の協力、地域イベント
- 地域プロジェクトの創出(投資)

2. 生活基盤の維持

- 医療、教育、交通、買い物

3. 多様な雇用機会

- 活発な地域産業
- 新しいビジネスが創生される環境

4. 定住・移住による人口維持

- 若い世代の定住
- 関係人口～移住へ
- 観光客増加

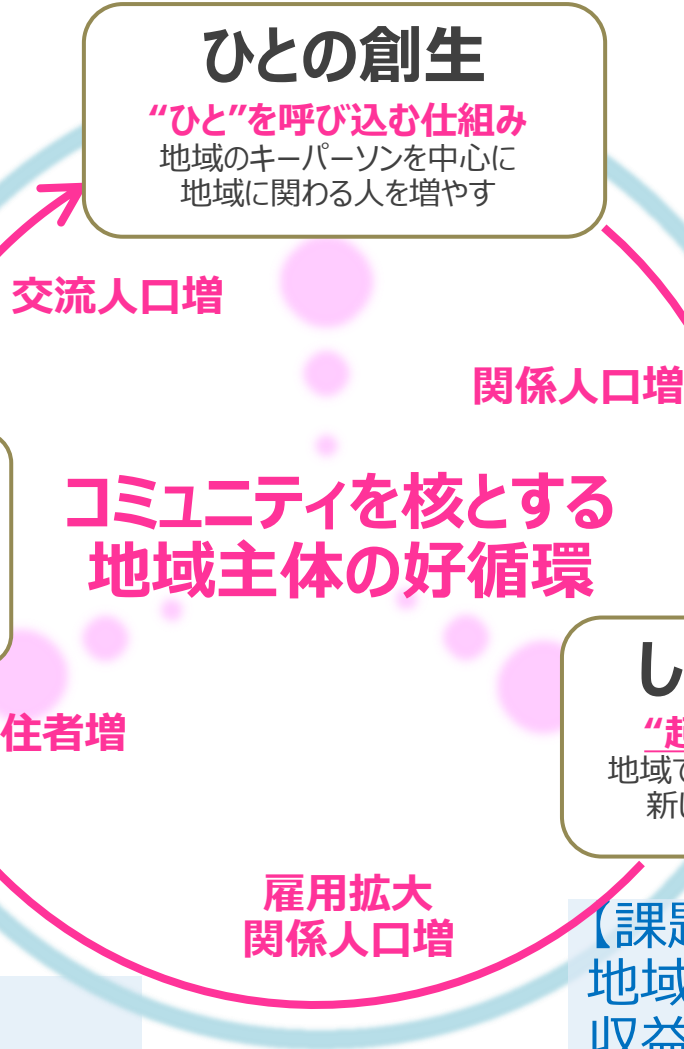
地域活性化の好循環モデルと地域課題

※『どうする地方創生 2020年からの新スキーム』
山崎史郎・小黒一正編著 日経プレミアシリーズ を基に弊社で加工。

【課題】
まちの知名度不足。
プロモーション不足。

まちの創生
行ってみたい場所がある、
会ってみたい人がいる、
訪れたい、住んでみたい“まち”

【課題】
交流人口を受け入れる働き手の不足。
地域に飛び込むための住まいの不足



【課題】
各地域でキーパーソンが孤軍奮闘。
コミュニティーマネージャー、
アセットマネージャー、担い手など
地域必要な人財の不足。

【課題】
地域にとって重要なビジネスでも
収益性が低い（歩留まりが悪い）ため、資金
調達に課題。
多様なファイナンスの知識不足。

JR西日本が目指す地域共生事業への貢献モデル

地域の“人”が主体に推進するプロジェクトを
“ファイナンス”と“人財”の両面での中間支援の役割を担い、地域活性化に貢献



せとうちパレットプロジェクト

せとうちパレットプロジェクトは、2018年からJR西日本グループのプロジェクトとして開始。コロナ禍を経て、交流人口をフックに地域の磨き上げ、地域づくりに挑戦。“住んでよし、訪れてよし”の「世界のせとうち」を目指し、地域や企業の皆様と連携して取組みを推進します。

観光高速船 SEA SPICA
広島港～尾道港



JR PREMIUM SELECT SETOUCHI



観光列車



せとうちパレットプロジェクト



みんなで描く、せとうちの未来

海と島々が織りなす、美しい景色。

おだやかな気候や風土で育まれた人々の暮らし。

せとうちを、もっと世界に知ってほしい。

何度でも訪れたいエリアにしたい。

そしてこれからも、この豊かな暮らしを守りたい。

世界に誇る、魅力あふれるせとうちへ。

たくさんの人たちと

より良い未来を描いていくプロジェクトです。

せとうちパレットプロジェクト・取組み方針

目指す姿： 世界に誇る「住んでよし、訪れてよし」のエリアとして未来へつなぐ。

顧客価値の創造

地域価値の創造

モダンラグジュアリーを
メインターゲットとした

プレイス
ブランディング

高付加価値化・滞在日数延長

拠点エリアの
磨き上げ

交流・関係・定住人口獲得へ

持続可能な
地域づくり

データ分析

移動データ分析、SNS分析による調査

せとうちパレットプロジェクト・プレイスブランディング

世界的なブランディング会社、**サフラン・ブランド・コンサルタンツ**との協働により、海外訪日客起点で、せとうちエリアのブランディング(約束する体験価値)を策定

ブランドプラットフォーム

PROMISE (約束)

**Where the extraordinary
hides in plain sight.**

ふとした瞬間に「特別」が顔を出す場所

海外向けブランドデザイン



せとうちパレットプロジェクト・人財プロジェクト

地域が持続していくには、教育・医療・観光等、暮らしを支える「産業」が不可欠
一方、特にローカルエリアで、人口減少による担い手不足・事業資金調達の難しさが顕在化

人財プロジェクト

- 新しい担い手を地域内部から育てる
- 企業など地域外からの関わり手をつくる
- 事業自体を持続可能な形にプロデュースする

ファイナンス支援

- 地域プロジェクトの創出支援
- エリア内のキラークンテンツ事業への参画
を目指してファイナンス支援が可能な体制を構築予定



せとうちパレットプロジェクト・人財プロジェクト

地域に関わる人財を3タイプに分けた上で、目的別に3つの人財プログラムを実施

次世代せとうち プロデューサープログラム

地域共生 推進プレイヤープログラム

せとうち ローカル起業家塾

目的

せとうちエリアで既に活躍する
キーパーソンがつながる

地域の仕事をする企業人が
(企業・銀行・自治体 等)
地域や企業同士とつながる

地域で起業している・したい人
がビジネススキルを習得する

実施
内容

座学7回程度・
フィールドワーク6回程度
(全13回程度)

座学5回程度・
フィールドワーク2回程度
(全7回程度)

様子

